

## 新型ホール素子

曲げられるホール素子を実現！  
量産展開に適し、感度の温度安定性も抜群

### 概要

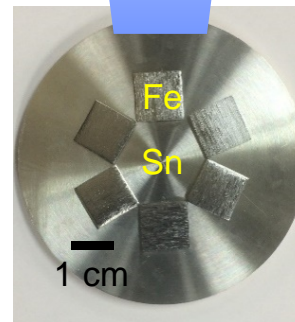
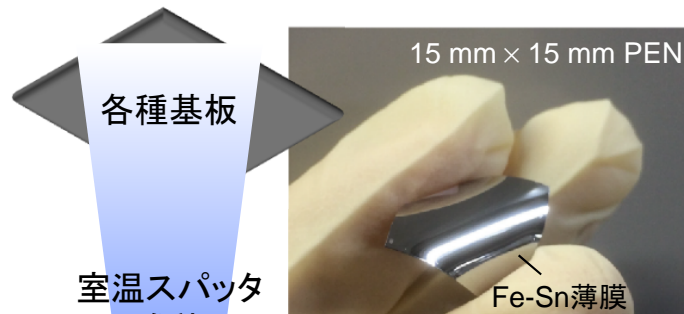
従来ホール効果を利用した磁気センサ（ホール素子、ホールIC等）の材料としては、化合物半導体であるGaAsやInSbなどが知られている。単結晶薄膜における高移動度を利用して高感度なセンサ特性を提供しているが、作製温度、作製手法、動作温度範囲の制約が厳しい点などに課題があった。

本発明は、上記課題のいくつかを解決する、Fe-Sn混晶をベースとする磁性金属薄膜の磁気センサである。室温堆積の汎用的手法で、広い温度範囲で安定したセンサ特性を示す特長をもつホール素子を提供する。

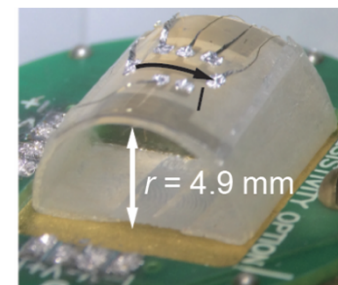
### 効果・応用例

- ・フレキシブル基板等に成膜可能
- ・感度は、GaAsホール素子と同等程度
- ・ホールICと同等以上の温度安定性を素子レベルで実現

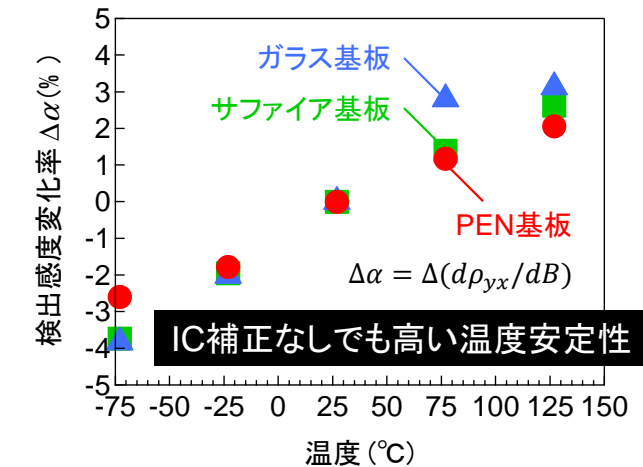
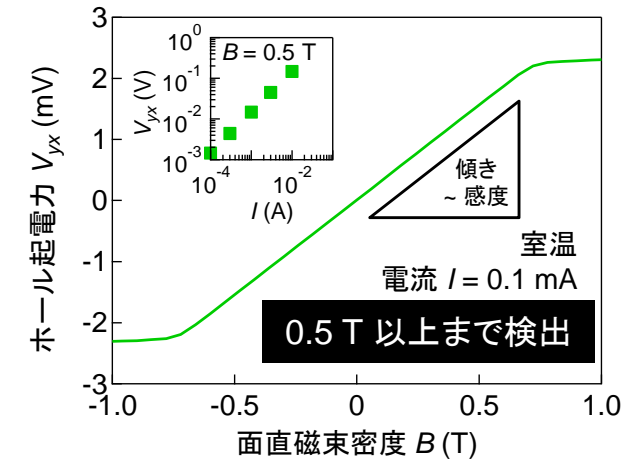
スパッタ法による大面積・高速成膜に対応



安価かつ無毒な原料ターゲット



曲げ状態における基本動作実証済



### 特許データシート

特許番号(整理番号): PCT/JP2019/032898 (T18-016)

発明者: 塚崎 敦、藤原 宏平

### 連絡先

株式会社 東北テクノアーチ

TEL 022-222-3049 FAX 022-222-3419

お問い合わせは、[こちら](#) からお願い致します。